

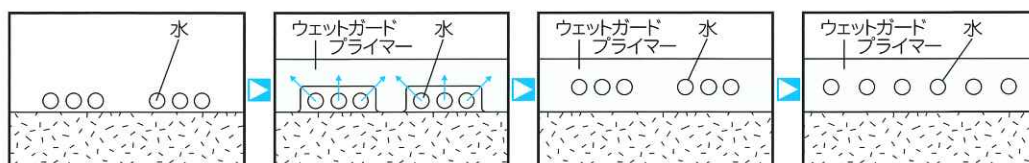
湿潤面用プライマー

アトムウェットガード®プライマー 無鉛

アトムウェットガードプライマーは無溶剤エポキシプライマーでGフィラーホワイトとの組み合わせで湿潤面に強力に付着します。

特長

- ① 湿潤面コンクリート、モルタルに強力に付着します。
- ② 無溶剤エポキシ樹脂のため高膜厚で耐久性にも優れています。
- ③ ウェットガードプライマーは特殊配合および水より小さい表面張力で、プライマーが下地表面の水分を押しつけて下地に強力に付着します。



用途

食品工場、厨房、学校の給食室等常時湿潤状態の床

（一社）日本塗料工業会登録	
登録番号	A03014
ホルムアルデヒド	F☆☆☆☆
放散等級	

荷姿

	内容量	荷姿	配合比(重量比)	塗り面積
主 剤	6kg	石油缶	2	約11㎡
硬化剤	3kg	4L角缶	1	
セット	9kgセット			
骨 材(Gフィラーホワイト)	9kg(4.5kg×2)		3	

※骨材(Gフィラーホワイト)は別売となります。

可使時間および上塗り可能時間

気 温	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃
可使時間	45分	20分	20分	20分	15分	10分
上塗り可能時間	16時間	16時間	4.5時間	3時間	2.5時間	2時間
希釈量(wt%)(合成シンナーNo.2)	5	3	無希釈	無希釈	無希釈	無希釈

上塗り適正材料

厚膜タイプ	フロアトップ#8000・U-100NEO・クイックアンダー・デリックガード
薄膜タイプ	フロアトップ#8500・#7000・#8500速乾

※その他、上塗り適正についてはフロアトップシリーズ資料編をご参照ください。

アトミクス株式会社

塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

アトムウェットガードプライマー

施工仕様例

● ウェットガードプライマー/#8000仕様

【防滑工法B】(3.0ミリ厚)

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	施工方法	塗装間隔 (時間/23℃)
1	プライマー ウェットガードプライマー(樹脂) フロアトップ Gファイラーホワイト	—	—	0.80 0.80	主剤とGファイラーホワイトを混合し、硬化剤と混合します。床に流しのべ、金ごてで塗装します。	直後
2	骨材散布 珪砂5号	—	—	4~6	塗料が乾燥硬化しない内に樹脂がにじまなくなるまで、むらがないよう均一に珪砂を散布してください。塗り継ぎ部の骨材散布は、樹脂が平滑になってから実施してください。硬化後、余剰珪砂を回収します。	3~24
3	上塗り フロアトップ#8000	—	—	0.70	金ごてで塗装し、ローラーばけで一様に仕上げます。	—

● ウェットガードプライマー/#8000仕様

【平滑工法A】(3.7ミリ厚)

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	施工方法	塗装間隔 (時間/23℃)
1	プライマー ウェットガードプライマー(樹脂) フロアトップ Gファイラーホワイト	—	—	0.80 0.80	主剤とGファイラーホワイトを混合し、硬化剤と混合します。床に流しのべ、金ごてで塗装します。	直後
2	骨材散布 珪砂5号	—	—	4~6	塗料が乾燥硬化しない内に樹脂がにじまなくなるまで、むらがないよう均一に珪砂を散布してください。塗り継ぎ部の骨材散布は、樹脂が平滑になってから実施してください。硬化後、余剰珪砂を回収します。	3~24
3	下塗り フロアトップ#8000 珪砂7号 30%混合	—	—	1.20 0.36	金ごてで均一に塗装します。	16~48
4	ピンホール止 スーパーウマール	—	—	—	ピンホールをパテで埋めます。	3~48
5	上塗り フロアトップ#8000	—	—	1.00	金ごてで均一に塗装します。	—

*上記の施工仕様例の詳細については、施工仕様書をご確認ください。

必ずお守りください

- ①下地を強制乾燥できる場合はなるべく乾燥させてください。
- ②湿潤床は著しく劣化している場合が多いので、床面は機械によるケレンをしてください。
- ③既存塗膜にウェットガードプライマーを塗布する場合は、既存塗膜が下地に密着していることを確認してください。また既存塗膜面は必ずサンディングしてください。
- ④ウェットガードプライマーは温度によって粘度が大きく変化しますので、可使用時間に注意し、混合した材料は直ちに床に流しのべてください。
- ⑤冬期は、Gファイラーホワイトの混合量を半分(4.5kg)に減量してご使用ください。

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- (1)5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- (2)降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- (3)下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、十分に注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- (1)水溜りの水は除去し、強制乾燥できる場合はなるべく乾燥させてください。
- (2)塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁してください。
- (3)二液性塗料の混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使用時間(ポットライフ)にも十分に注意して塗装してください。また小分けする場合は、必ずはかりを用いて計量、混合してください。
- (4)主剤と硬化剤を混合したまま放置すると硬化が進行し発熱します。その際容器に触ると火傷を起こす恐れがありますから、混合した塗料は、出来るだけ早く使い切ってください。
- (5)周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- (6)静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- (7)タンク内部の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付けてください。

3. 塗装(施工)後の注意

- (1)湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。

4. もしもの場合

- (1)皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- (2)眼に入った場合は、多量の水で洗ったあと、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- (3)蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。

5. 全般的注意

- (1)製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- (2)塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- (3)改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (4)当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (5)製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。